



園長だより

NO31. R5. 12. 18 (Mon)

先日は、当園の名女優達によります劇団たけのこの公演を開催させて頂きました。ご参観された保護者の皆様、配信でご覧頂いた皆様も、ありがとうございました。

そもそも劇団「たけのこ」発足の由来はといいますと、4年前に遡ります。折しもコロナ禍の真只中で例年、園児達への綺麗なクリスマスプレゼントとして豊かな感性の育くみにと、人形劇団を招いていましたが、それも叶わず、予定が頓挫してしまう事態に。そんなコロナ禍の中で... 常に当園で掲げていました「園のモットーがあります」 「やめてしまうのではなく、形態を変えてやってみよう!」の精神で、職員「呼べないなら、私達がやればいいじゃん!」の職員ひと声で、とんとん拍子で話が進み私達職員で劇団「たけのこ」を立ち上げ、旗争げ公演は、「桃太郎(配信のみ)」次が「サンドリオン(シンデレラ)」。保護者の皆様への配信のみからスタートし、昨年は「ジャックと豆の木」、そして今年「不思議の国のアリス」で、コロナもち類に移行した事で、保護者の皆様にも公開出来る事に。この様な経緯を辿ってきたわけです。

手前味噌で、恐縮ではありますが、職員のみならず(先生達)が、「やる」と決めたら、ま〜感心する程とこっそりやるんです。

練習も放課後日程を決めて集まり、小道具・大道具も全て手作り
で... 之れ何よりメイク!

保育終了後の放課後、役ごとに個々で結構真剣に練習するんですよ。

とはいえ、正直、ちょっと動きを間違えちゃったり、忘れちゃったり、しちゃうんですがね〜。

宝塚の様を決して「美形」ではありませんが、どちらかというと、

吉本新喜劇寄り、いえそれを超える程に塗るんです。メイクするといふより、そんなこんなで子ども達を喜ばせる事、笑顔を引き出す事に、全力で頑張、て(先生達が)くれる事が、嬉しくて、

これには、私の中で逸話があるんですよ。陽菜子先生が一年目だった昨年、私と共に鬼役で私達がこんな感じ(顔の絵)でメイクを仕上げているのを横目で見て真顔で真剣に「園長先生、私、もっと塗っていいですか?」と言って誇らし気に再び振り向いた時には(顔の絵)眉も繋、って、私達を越えていて大爆笑しちゃったんですよ。

そして、観ていてくれる子ども達、会場も舞台裏、やっている私達も大爆笑の渦でした。

そんな満場の笑顔に包まれる瞬間、幸せだな〜って、つくづく思ったんです。

先週、園長だよりにも話題にさせて頂きましたが、子育てしている中では

そして更に嬉しい事に今年度はPTA四役(書記)の保護者様もご出演頂いたんですよ。当日是非ご観覧を!とお声掛けさせて頂いたら、「一緒にやってみよう」との有難過ぎるコメント頂き、一緒に出演という運びになりました! こんな素敵で前向きなお母様の姿、意欲、ま、お子様にも眩しく映るはず! ご一緒させて頂き、本当に嬉しかったです。

思うようにいかないう事や反抗期や、イヤイヤ期があたり、癩癩をおこしたり、本当にお母様も辛い事や、お母様自体が泣きたくなくなっちゃう事も山程あると思います。

PS. 私と同じ「お花役」だったんですが、私嬉しくて握ったお母様の手を離れしたくなかったです。